

万博公園自然観察学習館



カワセミだより

NO. 22 2008. 1. 1

新年号

<今月の話題>
万博公園の森づくり

明けましておめでとうございます



本年もどうぞよろしく
お願いいたします



森再生

万博公園森づくりの歩み

あけましておめでとうございます。新年にあたり1970年の万博開催後の万博公園の森再生の歩みを振り返り、さらに未来へ向けて壮大な森づくりの夢に取り組む万博公園を紹介します。
(以下の画像や説明は当館廊下の「万博公園のとりくみ」のパネルを元に作成したものです。パネルには各年代の主な国内外の出来事も記されています。)



万博開催前(1967年)

吹田市のこの場所が日本で初めての「万国博覧会」の会場に決定しました。当時、この地には松林と広大な竹林が広がっていました。

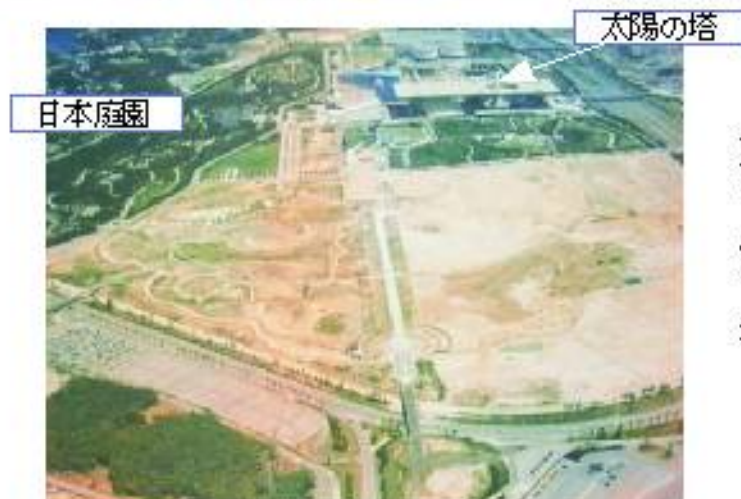
写真の上の方に白く見えるのは1962年に街開きの千里ニュータウンです。



万博開催中(1970年)

「人類の進歩と調和」をテーマに開かれた万博には世界各地、日本全国から約6,422万人もの人々が集まりました。ソ連館の後方の緑は日本庭園です。

万博閉幕後には日本庭園と一部のパビリオンを除き、すべて取り払われ会場は更地となりました。



森づくりのスタート当初(1974年)

万博の跡地を「緑に包まれた文化公園」にするという基本方針が決まり、1972年より事業がスタートしました。

緑については「自立した森」(人の手を加えなくてもよい、生態的に安定した森)の達成を目標に池や川が作られ、100万本近い苗木が植栽されました。

なかでも西地区にはシイ・カシ・タブ類などの樹種を多く植え、早期の森づくりを目指しました。



万博開催から10年(1981年)
公園整備も終わり、当初苗木だった樹木も生長し森の様相を見せ、野鳥や昆虫など様々な生き物たちが集まってくるようになりました。
1985年3月には自然観察学習館が開館しました。
反対に万博公園の周辺は市街化が進み緑が減少してきました。



万博開催から30年(2000年)
木々の植栽から30年近くが経過し、万博の跡地は緑あふれる公園になりました。
森づくりにあたっての苦労のひとつに公園の土質があります。(千里丘陵独特の海成粘土層が樹木の生長によくない影響を与える)
そのため写真右下の「花の丘」のエリアは当初は森の一部として計画されていましたが、樹木の生長にもかからないためモルロール建設時の残土を入れ、ポピー・コスモスなどの咲く丘として再整備されました。

ソラードからの森の風景(2007年)

ソラード展望台から太陽の塔の方向を見た風景です。(ソラードは万博開催30周年記念事業として作られました)

この眺めからも量的に緑は充実し「緑に包まれた公園」の目的を達したように見えます。しかし森の質においては今後様々な取り組みが必要なることも明らかになってきました。

万博公園の森づくりについては館内の他にも、以下に詳細をのせています。ぜひご覧ください。

★万博公園ホームページの「自然の森再生への取り組み」

★冊子「森発見(しんはっけん)」

(年4回発行一部200円:自然観察学習館・総合案内所・花と緑の休憩所・国立民族学博物館ミュージアムショップで販売中)



100年の森 緑あふれる六甲山と明治神宮

神戸の六甲山が明治時代初期には「はげ山」であったことをハイキングの折などに耳にされた方も多いことと思います。東京の明治神宮の森は「永遠の杜」をめざし、1915年に着立した人工の森です。

どちらも100年近くを経過し安定した森を形成しています。

万博公園も100年の森、千年の森を見据えて森づくりに取り組んでいます。

幹周り200cmの木が106本 公園内に育った大木

吹田のNPO法人「すいた市民環境会議」が今年10年ぶりに幹周り200cm以上の市内の大木調査を行い、市内の9割以上の地域を調べ計886本を数えました。そのうち万博公園内には106本の大きな木があることがわかりました。12月には全市の調査を完了するそうです。(以上朝日新聞12月4日記事)

万博公園が吹田市内でも大きな木が多く、貴重な緑の地域であることがわかります。

〔草木で遊ぼう(NO22)〕
ネズミさん

今年はネズミ年なので木の実でネズミを作ってみました。

- 材料：ツバキの実の皮部分2個・目、鼻、ヒゲ、尾用の種等
- 用具：クラフトバサミ・木工ボンド
- 作り方

1. 実の内側の出っ張りをハサミで取り、平らにする。
耳にする実の2片の先を少し切り丸みをつける。
2. 顔を作る。写真のように目、ヒゲ、鼻などを色々な材料を用いてボンドでつける。
3. 胴体用にツバキの実の皮の1片を切り取り、頭部とバランスよくつなげて、尻尾をつける。(この作品の尻尾にはプラタナスの実の柄を作っています。)



完成作品



他にも色々できます。

1月の行事

- 越冬昆虫の観察会 1月13日(日)雨天中止
- 冬鳥の観察会 1月19日(土)雨天中止
- 樹皮樹形の観察会 1月27日(日)雨天中止



- ★冬の自然展 12月6日(木)～2月12日(火)
・冬の動物や植物の暮らしぶりを展示、紹介しています。



マンリウウ(実)

- 行事の詳細、ご参加の方法などは「万博公園だよりECo-Park」をご覧ください。
- 学校などの団体対象の理科、生活、総合学習などの教育活動支援も行っております。

自然観察学習館アクセスマップ

開館: 午前10時～午後4時



電車でお越しの方:

- 大阪モールの「万博記念公園駅」下車 徒歩15分
- 「公園東口駅」下車 徒歩25分

車でお越しの方:

- 「日本庭園前駐車場」徒歩15分
- 「西第1駐車場」徒歩15分
- 「中央駐車場」徒歩15分
- 「東駐車場」徒歩25分

「カワセミだより」Web版

万博公園TOP > 自然文化園 > 自然観察学習館 > 生き物情報 > カワセミだより

(WEB版はカラーでご覧いただけます)